

お国自慢

「隼人と桜島」



医学部医学科1年次 後藤 健太

こんにちは、今度鹿児島県について紹介させていただく後藤です。

今回私が紹介したいのは、鹿児島県のご当地キャラクターについてです。ご当地キャラクターといえば、熊本県のくまモンや奈良県のせんとかん、沖縄ではぎ〜のくんなどが有名ですが、鹿児島県のご当地キャラクター、薩摩剣士隼人はご存知でしょうか？

薩摩剣士隼人とは、毎週日曜日の朝6:15からKTS鹿児島テレビで放送されている「薩摩剣士隼人」というアニメの主人公であり、豪快かつ大らかな優しい性格で敬天愛人の思想を持つ鎧武者です。薩摩剣士隼人という名前は、理想的な男を意味する「薩摩隼人」という鹿児島の言葉に由来します。

また、隼人は鹿児島の自然をこよなく愛し、伝統文化や郷土料理に目が無いという設定であり、鹿児島の特産品である芋焼酎や伝統芸能の鹿児島おはら節など、鹿児島にまつわるものがアニメの中で多数紹介されているようです。このアニメにはヤッセンボーという狐を模した敵キャラクターがいます。ちなみに「やっせんぼう」とは鹿児島弁で弱虫、意気地なしを意味する単語です。このように薩摩剣士隼人は劇中の会話や登場人物の名前など鹿児島弁を積極的に使い、物語の中で鹿児島の特産品を登場させるなど、子供たちに鹿児島の伝統にふれさせたり、他県の人に鹿児島をPRしたりするのに一役買っています。興味が出た方はYouTube公式チャンネルなどでご覧ください。

さて、次に私が紹介したいのは鹿児島の地理です。鹿児島県といえば、桜島という人が多いと思いますが、どのくらい頻りに噴火しているかご存知ですか？2015年は、11月9日までに1,252回噴火しました。日によって変わりますが、大体1日に3、4回噴火して、過去最多の1日の噴火回数は31回です。このように鹿児島県民にとって噴火はとても身近なもので、降灰とずっと付き合っています。天気予報の後にある桜島上空の風向きで洗濯物を干すか干さないかを決めたり、灰専用のゴミ袋である降灰袋に灰を集めてゴミに出したり、灰ですべてが転びそうになったり、大変なことがいろいろとあります。目に入る

と痛いし、髪がキシキシになります。だから慣れてはいるものの、灰が自分の方にモクモクと向かってくるのを見ると嫌になります。桜島が活火山であるがために噴火は起こりますが、活火山であるからこそその恩恵もあります。それは、鹿児島にある銭湯は基本天然温泉だということです。私も鹿児島にいた頃はよく銭湯に行き、温泉を楽しんでいました。近所にたくさんの温泉があるのが当たり前だと思っていましたが、鹿児島を離れた今、それがとても幸せなことだということに気がきました。桜島には、他にも魅力がたくさんあります。桜島の名産品としては、桜島大根と桜島小みかんがあります。桜島大根は世界一大きな大根です。重さは通常6キロ前後で、大きいものは約30キロ、直径が40、50cmにもなります。味も甘みが強くてとても美味しく、生でも漬物でも煮物でもなんでも合います。桜島小みかんは世界一小さいみかんです。重さは30~50グラムで、大きさは直径3~5cmです。皮を剥いたらそのまま一口で全部食べられる大きさです。樹齢200年以上の大木もあり、一本の木から数百キログラムも取れます。また、桜島を取り囲む錦江湾には野生のイルカが生息しています。私も桜島フェリーに乗るたびに探していました。実際に見つけたことも何度かあります。

鹿児島に来た際は、桜島の灰に悩まされるかもしれませんが、是非、桜島の魅力も満喫してください！

以上、鹿児島のお国自慢でした。

